



SOPHIANsNow

ソフィアーズ顕彰表彰式 ーソフィア会の発展に貢献されましたー

Likening Sophia University Alumni Association to the wings of an eagle, each Sophian would be a single feather.

Supported by your service, often undetectable to many Sophians, SUAA has been able to powerfully spread its wings.

We present this commemorative shield as a sign of our gratitude to each of you who have worked hard to enlarge the circle, and deepen the bonds, of Sophians.



次ページに続く



戸川会長から賞状を受ける細川佳代子さん

これに続き、2017年秋季全国代議員会において第3期顕彰委員会が発足、約2年をかけて被顕彰者の選考を進め、今回13名の被顕彰者の候補者を決定したものです。

授賞式後、今回受賞された方から「母校への恩返し光栄と喜び、改めてその重さが実感として湧いてきました」、「このたびの栄誉は身に余る光栄なことと、あらためて感謝申し上げます」、「盛大なるセレモニーに大変恐縮致しました」、「皆様大変な実をお持ちの方で、有難く思っています」などのコメントが寄せられました。

2019年10月19日（土）、上智大学6号館101教室で開催した2019年上智大学秋季全国代議員会で「ソフィアンズ顕彰表彰式」を行い、今回顕彰者として選定された13名の方々に戸川宏一ソフィア会会長が表彰状および記念盾を贈りました。表彰状は、それぞれの方の功績を個別にたたえるもので、戸川会長は個々に賞状を読み上げながら記念盾とともに手渡しました。

それに対し、受賞者を代表してニューヨーク・ソフィア会の篠崎晃さんが挨拶。最後に戸川会長、佐久間勤上智学院理事長、畔道佳明上智大学長も加わり記念撮影をして、式典は約30分で終了しました。

ソフィア会は、2013年の上智大学創立100周年を機に「ソフィア会に顕著な貢献のあった会員を顕彰する」ことを目的とした「上智大学ソフィア会貢献者に対する顕彰規程」を定め、第1期被顕彰者選考委員会において15名、第2期顕彰委員会において14名の被顕彰者を決定、それぞれ2013年秋季全国代議員会、2016年秋季全国代議員会において表彰式を行っています。



記念盾

第3期ソフィアンズ顕彰受賞者

みなさまのお力に、私たちは心より感謝しています

ドナル・ドイル（前ソフィア会副会長）

日下幸雄（1955 文史・1959 院前文史、史学科同窓会初代会長）

篠崎晃（1960 外西、元ニューヨーク・ソフィア会会長）

濱口吉右衛門（1960 経経、元ソフィア会副会長、金祝燦燦会会長）

石澤良昭（1961 外仏、元学長（第13代））

柳本信一郎（1963 経商、元経経会会長、元役員選考委員会委員長）

池尾久美（1965 聖母、聖母看護学科同窓会第2代会長）

細川佳代子（1966 文英、前ソフィア会副会長）

米村征一郎（1968 理化、元熊本ソフィア会会長）

ウィリアム・カリー（1968 院前神、元学長（第12代））

上原治也（1969 経営、ソフィア会前会長（第9代））

和泉法夫（1970 理機・1972 文社、元ソフィア会会長（第8代））

熊野達夫（1971 経経、元広島西部ソフィア会会長）

（前ページの左から、上原治也さん、和泉法夫さんは当日欠席）

●篠崎晃さんのご挨拶

今回の受賞は私のみならず、55年にわたりニューヨーク・ソフィア会の発展に貢献されました先輩諸氏、役員と180人余の現ニューヨーク・ソフィアンズに与えられました名誉であり、全員でこの喜びを分かち合いたいと思います。

2010年、私共同期生が金祝を迎えた直後、「金祝こそ誠の卒業、今こそ母校への新たな貢献をしよう!」という声があがり、ここにおられる濱口さん他の有志が金祝燦燦会を立ち上げ、上智に学ぶ海外留学生への支援を続けておられます。

私はニューヨークの「ひとり燦々会」としてどのような貢献が出来るか考えを巡らした結果、上智からの留学生に限らず、ニューヨークに転勤などで移り住むソフィアンとその家族が自立できるまで1対1で支援するBig Brother、Big Sisterの仕組みと、同時に各地ソフィア会相互の交流を深めるグローバル・ソフィアン・ファミリー運動を提唱し、実行して参りました。この運動が他のソフィア会にも浸透しつつあることを誠に喜ばしく思っています。



篠崎晃さんのご挨拶

第4回アジア・ソフィア会「2019ジャカルタ大会」

アジア諸国におけるソフィアのネットワーク構築へ

第4回アジア・ソフィア会ジャカルタ大会が9月27日(金)～30日(月)の4日間、インドネシアのジャカルタ市のホテル・ムリア スナヤンで開催されました。

大会には、来賓として上智学院から佐久間勤理事長とサリ・アガスティン総務担当理事、大学から曄道佳明学長、久田満副学長、廣里恭史教授(SOPHIA GED代表取締役)をお迎えし、アジア4か国のジャカルタ・香港・バンコク・シンガポール各ソフィア会から29名、日本から41名のソフィアンとご家族など合せて合計70名が参加して行われました。

来賓挨拶に続いて行われた記念講演は、共



同通信社に勤務しジャカルタ支局長を務めた山田道隆氏の「インドネシアの40年、私の十大ニュース」。スライドを使って20世紀後半から現在にかけての政局、民主化運動、事件や自然災害とそれにかかわった忘れ得ぬ人たちが紹介されました。

パネルディスカッションは、戸川会長がコーディネーターを務め、石川雅弥ソフィア会副会長、サリ理事、バンタ美枝子ジャカルタ・ソフィア会会長、廣里恭史教授、香港ソフィア会の大宅一裕氏の5人のパネリストによって「アジア諸国におけるソフィアのネットワーク構築」をテーマに行われました。

懇親晩餐会は、濱口敏行ソフィア会副会長の乾杯の音頭で歓談に移り、各国からの参加者、現役学生やゲスト参加の方々の紹介、地元ビールやワインでインドネシア料理を楽しみました。

参加者は大会に先立って、バンタ会長のご案内でジャカルタ市内を観光し、大会3日



目は、ゴルフ組とジョグジャカルタ市の世界遺産観光組に分かれ、観光組はボロブドゥール遺跡(世界最大級の仏教遺跡)とプランバナン寺院(ヒンドゥー大寺院)を訪ねました。8～10世紀に建立されたジャングルの中にそびえ立つ両遺跡の姿は圧巻の迫力でした。

聖フランシスコ・ザビエル像が四谷キャンパスに

上智大学の創立記念日である11月1日、市谷キャンパスに置かれていたザビエル像が60年の時を経て、四谷キャンパスの10号館前に移設されました。



午前9時から、佐久間勤上智学院理事長、曄道佳明上智大学長、戸川宏一ソフィア会会長など、学院、大学、ソフィア会関係者、そして学生が見守る中、李聖一神父司式で、ザビエル像の除幕式が挙行されました。佐久間理事長、曄道学長、李神父らの手で包んでいた布が外され、ザビエル像が現れると、参列者から歓声と拍手が。



李神父が聖水で祝別し、神の息吹が注がれ一層生き生きとした表情になったザビエル像は、10号館の壁と素材・色が同様で、昔からそこにあるのが当然のようなたたずまい。ソフィア会は上智大学創立100周年を機に、ザビエル像の移設を学院に申し入れた経緯があり、念願となった日となりました。

オールソフィアンのクリスマス(ASC2019)のご案内

ソフィア会の冬の恒例行事、「オールソフィアンのクリスマス(ASC)」が12月13日(金)に開催されます。今年も「ソフィアンの祈り」と「パーティ」の2部構成。思い思いのブースも出店、その収益は、山本美紗さん(2012年聖母看護学科)が半年間医療支援のため滞在されたバングラデシュの「バングラデシュ南部避難民支援」のために捧げられます。ぜひ、ご来場ください。



日時 2019年12月13日(金)
午後6時～8時30分
(午後5時30分受付開始)
第1部 ソフィアンの祈り
第2部 パーティ

会場 上智大学四谷キャンパス9号館
地下1階
アクティブコモンズ(旧9号館カフェテリア)

会費 学生 500円／一般 1,000円(アルコールワンドリンク無料券付き、ソフトドリンクはどなたでもフリーです)

共催 上智大学ソフィア会／上智大学

協力 上智聖歌隊 上智大学放送研究会 ソフィア祭実行委員会
カトリック学生の会



ソフィア会の将来の姿を明らかに



午後2時から開始した2019年ソフィア会春季全国代議員会では、冒頭、戸川宏一ソフィア会会長が「ソフィア会は20年後には会員20万人時代を見据え、本日審議いただく将来ビジョンを具体化することが求められる。またソフィア会のネットワークをさらに広げ、若い世代にも積極的に参加していただくことが重要だ」などと述べました。

続いて来賓としてお招きした佐久間勤上智学院理事長、曄道佳明上智大学長の挨拶の後、戸川会長が活動報告として2018年会務報告と2019年重点施策を説明し、審議に入りました。今回の審議事項の柱は、ソフィア会が約2年をかけて検討を進めてきた「将来ビジョン」。ソフィア会の今後の方向性を定め、それを実現するための具体的施策を示すもので、2018年7月から委員長を務めてきた池田道雄ソフィア会副会長が約30分をかけて説明。これに対し、7人の代議員から意見、質問が寄せられましたが、そのひとつひとつに対し回答。最後は拍手で承認されました。

その後、①新規代議員承認の件、②新規登録団体承認の件、③2018年度事業報告、決算報告及び監査報告の件、④2019年度事業計画及び予算の承認の件、⑤ソフィア会奨学金創設に伴う運営指針、基金設置と募金推進の件の5つについて各担当の委員長が説明。4人の代議員が2019年度予算と奨学金について質問や意見を述べ、これも拍手で承認されました。

会務報告と祝典—来場者も年々増大

金、ルビー、銀、銅の各祝典およびソフィア会会員大会は参加者が増えたため、今年から6号館101教室(金祝、ルビー祝)と10号館講堂(銀祝、銅祝)において時間差で開催。挨拶および会務報告を行う戸川宏一ソフィア会会長、ASF2019について説明する豊田圭一ASF2019実行委員長、そして式典で式辞を述べる曄道佳明上智大学長、祝辞を述べる佐久間勲上智学院理事長は、慌ただしく会場を移動することになりました。

この中で戸川会長は、この間ソフィア会が検討をすすめてきたソフィア会の今後の方向性を定め、それを実現するための具体的施策を示す「将来ビジョン」の内容などについて説明。続いて、祝典では、学長、理事長は久々に母校を訪れた卒業生に向けて、各世代の当時の母校の様子、それと現在の状況を比較する形で祝辞を述べました。

その後、いつものように金、ルビー、銀、銅祝の各代表者にはラテン語で書かれた祝状と花束が贈られ、各代表者が学生時代の思い出などを交えながら挨拶、終了後は金、ルビー、銀、銅祝のパーティがそれぞれの会場で趣向を凝らして行われました。



項 目	2018年度収支決算書		2019年度
	2018年度予算	2018年度実績	収支予算書
【収入の部】			
1 終身会費（同窓会費）（注 1）	30,000,000	38,210,000	20,000,000
2 入会金収入	80,000	0	80,000
3 維持会費（任意）収入	3,800,000	3,185,539	3,500,000
4 上智学院預け金利息	3,850,000	3,880,138	3,400,000
5 カード手数料収入	3,560,000	3,450,577	3,400,000
6 クラブ使用料収入	3,100,000	3,090,800	2,800,000
7 その他収入（ネットショッピングなど）（注 2）	980,100	834,331	680,100
8 積立金取り崩し金額（注 3）	27,603,500	14,855,522	43,889,900
収入 計 (a)	72,973,600	67,506,907	77,750,000
【経常支出の部】			
1 事務局費			
人件費（注 4）	6,489,600	6,702,863	8,320,000
業務委託費	654,000	623,160	440,000
通勤費	970,000	968,336	1,000,000
会議費	1,500,000	1,376,126	1,500,000
通信運搬費	850,000	829,832	850,000
印刷費	1,320,000	876,495	1,300,000
消耗品費	800,000	1,262,719	1,300,000
備品費	170,000	158,760	140,000
機材使用料（注 5）	2,460,000	2,905,131	3,800,000
渉外費	300,000	46,427	200,000
銀行手数料	200,000	183,424	200,000
その他費用	1,630,000	2,258,920	1,680,000
事務局費 計	17,343,600	18,192,193	20,730,000
2 事業費			
① 広報費（計）	(18,270,000)	(17,315,785)	(18,420,000)
会報印刷費（注 6）	3,500,000	3,093,972	3,530,000
ウェブサイト費（ホームページ費）	3,700,000	3,201,813	3,790,000
未来募金・配送料見合	11,000,000	11,000,000	11,000,000
広報その他費用（注 6）	70,000	20,000	100,000
② ソフィアズクラブ（計）	(6,200,000)	(6,569,515)	(7,670,000)
クラブ人件費（注 7）	2,500,000	2,500,160	1,600,000
クラブ通勤費	250,000	235,100	250,000
クラブ業務委託費	200,000	168,480	200,000
クラブ管理費（夜間）（注 7）	2,500,000	2,922,480	4,250,000
クラブ水道光熱費	650,000	669,272	700,000
クラブ備品費（注 8）	0	0	410,000
クラブその他費用（注 9）	100,000	74,023	260,000
③ 奨学金	3,000,000	3,000,000	3,000,000
④ 募金委員会費	400,000	0	0
⑤ ASF 運営費（注 10）	4,000,000	3,296,372	5,000,000
⑥ ASC 運営費	660,000	374,942	500,000
⑦ 地域・各種ソフィア会連携推進費（注 11）	4,400,000	3,010,650	3,300,000
⑧ 国際委員会費	1,982,000	1,562,490	1,670,000
⑨ 学生支援事業（計）	(9,735,000)	(9,702,871)	(9,810,000)
寄付講座費	1,000,000	1,000,000	1,000,000
学生課外活動支援費	8,000,000	8,000,000	8,000,000
その他の学生支援費（ソフィア祭現役支援等）	300,000	400,000	400,000
キャリア支援委員会費	200,000	117,670	200,000
キャリア支援プロジェクト	235,000	185,201	210,000
⑩ その他事業費（金ルビー銀銅祝、ゴルフ）	1,620,000	1,889,974	2,120,000
⑪ 学部学科同窓会支援費（注 12）	500,000	36,000	1,260,000
⑫ 常設委員会費（役員選考委員会・被頭彰者選考委員会）	230,000	285,982	500,000
⑬ NEXT100 委員会費	565,000	475,102	400,000
⑭ オリンピック・パラリンピック支援委員会費	1,260,000	434,507	820,000
⑮ ビジョン委員会費（特別委員会）	658,000	232,524	400,000
⑯ IT インフラ支援費	1,150,000	1,128,000	1,150,000
事業費 計	54,630,000	49,314,714	56,020,000
3 予備費	1,000,000	0	1,000,000
4 基金積立額 (s)	0	0	0
経常支出 計 (b)	72,973,600	67,506,907	77,750,000
当期収支 (c=a-b)	0	0	0
積立金（純資産）			
期首積立額 (d)	386,618,514	386,618,514	371,762,992
当期積立額 (e=s)	0	0	0
当期収支残の取り崩し (f=c)	0	0	0
当期積立金の取り崩し (g)	27,603,500	14,855,522	43,889,900
期末積立額 (h=d+e-f-g)	359,015,014	371,762,992	327,873,092

(注1)終身会費徴収システム変更に伴い減収としています。(注2)受取利息収入2019年度予算額100円はその他収入に含めて表示しています。(注3)終身会費償却及び他の収入の合計金額が減少するため、積立金取り崩し補填に充てることを代議員会にて承認が必要です。(注4)ソフィア会活動の活性化に伴い事務局スタッフを1名増員しています。なお、法定福利費7万円は人件費に含めて表示しています。(注5)機材使用料は、ウィンドウズ7のサポート終了に伴うパソコン13台等の取替更新をリースにて予算計上しています。(注6)主に2019年度は隔年毎に発行されておりますハンドブック製作費85万円を計上するとともに、2018年度に予定しておりましたウェブサイト改善費60万円と新入生及び在校生向けソフィア会案内フライヤ25万円を先送り、2019年度の予算としてお

ります。また、2018年度「広報制作費」と「編集費（取材・調査）」を合わせて、2019年度から「広報その他費用」にします。（注7）夜間管理を業者に委託したことになる人件費の減少、及び夜間に加え下期（予定）より全土曜日を開館することによるものです。（注8）設備の充実を図るための備品購入費用です。（注9）科目名をクラブイベント費からクラブその他の費用に変更しています。（注10）広報費1百万円を予算計上しております。（注11）地域ソフィア会全国大会の開催（2018年度予算22万円）を2020年に予定し、一方で地域ソフィア会代表者連絡会を開催予定（80万円）しています。（注12）卒業5年目の会の開催費用及び登録団体の同窓会活動支援のためのシステム導入に向けた調査費用を計上しています。

将来ビジョンの具体的施策を可決

午後2時から開始した2019年秋季全国代議員会では戸川宏一ソフィア会会長の挨拶、来賓としてお迎えした佐久間勲上智学院理事長、嘩道佳明上智大学長の挨拶に続き、ソフィアンズ顕彰表彰式を行い、2017年から審議してきた被顕彰者13名を発表。当日出席された11名に戸川会長がそれぞれ感謝状と記念盾を贈呈しました。

続いて戸川会長が会務報告、その後戸川会長を議長に議題の審議に入り、①将来ビジョンの具体的施策について、②新規代議員承認の件、③新規登録団体承認の件の3件について、それぞれ担当の常任委員などが説明。会場からは5名の代議員から質問および意見が寄せられましたが、いずれも拍手で原案通り可決されました。これにより、学部・学科同窓

会は17団体に、そしてソフィア会登録団体は310団体となりました。

その後、第4回アジア・ソフィア会ジャカルタ大会、卒業5年ソフィアンの交流会開催についてなど11の項目について報告、その後、秋季全国代議員会恒例となりつつある講演「平和構築を現場で調査し、教育に活かす」が、東大上智大学教授によって行われました。



活動抄録 — 2018年度ソフィア会重点施策と主な実施結果

1. 2020年以降の具体策にむけたソフィア会の将来像の構築

- 結果** ・「ソフィア会の将来ビジョン」(案)を取り纏め、春の代議員会に諮る。委員会を19回開催し、2018年11月までに素案を纏めた。
- 12月～2月の常任委員会で衆議、3月にパブリックコメント募集、4月6日説明会実施、計画通り、2019年春の全国代議員会に提案
 - 2018年10月に奨学金等学生支援特別委員会と学部学科同窓会特別委員会を設置し将来像の構築に向けた前倒の活動を開始

2. 上智学院、大学との連携推進

- 結果** ・ソフィア会奨学金創設について検討して、2019年から給付開始。「ソフィア会奨学金基金設立」と「目的指定未来募金開始」を提案
- 3/22「卒業する留学生を送る会」を実施し30名以上の参加者が交流
 - 留学生によるスピーチコンテスト(ASF、祖師谷トライアングルフェスタの年2回)を開催、学生団体(LINGWAVE、SISEC)の協力を得て学生間の交流活性化を支援
上智大学発信日本国内主要大学留学生対象のスピーチコンテスト開催の検討を開始
 - イエズス会系大学OB/OGとの交流として、3/5上智大学主催アテネオ・デ・マニラ大学との交流50周年記念式典について、その事前準備、当日参加。
 - 9/7上智大学在学学生7名のジョージタウン大学での10日間研修を支援
 - SOPHIA未来募金推進の機運を高めるソフィアパッチ販売の取次500個以上の実績
 - 文科系:20団体、体育会:43団体に予算通り800万円の支援金贈呈を実施。
 - 奨学金等学生支援特別委員会を設置、学生支援強化にむけたソフィア会内体制検討を開始
 - 就活支援企画OB・OG交流会の実施
 - 10/30「上智出身の外交官と会おう」を開催、12/12「外交官・国家総合職を目指す勉強会」立ち上げと参考図書類(条約集・判例集等)につきソフィア会が支援。
 - ランチごち(活躍する卒業生とのランチ企画)2019年5月スタートに向けた準備実施
 - 上智大学と連携しパラリンピック大会等に向けてのボランティア活動の啓発

- 支援人材育成(ASF・ソ祭での各種体験会・関連映像上映・シンポジウムの開催計約500名参加/大学と共催・連携による講演会・シンポジウム・上映会・授業への卒業生講師紹介手配・ベニューツアーなど計600名参加)
- 人材バンク立ち上げ・募集開始(パンフレット作成・卒業式などでの配布、年度末約300名登録、登録者ミーティング開催25名参加)
- 情報提供(ボランティア求人・研修会・関連情報のメール発信 通算150超)
- 地域活性(ラグビーW杯・ワールドマスターズ支援活動紹介・機運醸成のため熊本・香川・徳島ソフィア会での関連情報提供)
- SJハウスガーデン東屋の床修理費用の一部として70万円を寄付
- 上智学院ソフィア連携室との定例会議開催(2018年度5回開催)

3. オールソフィアンによる総合力の発揮

- 結果** ・学部学科同窓会特別委員会を設置、問題点の抽出と対応策の検討を開始
- 1/28第3回学部学科同窓会連絡会を開催
 - 会員名簿管理に関するタスクフォースを設置し活動を開始
 - 第10回地域ソフィア会全国大会(香川大会・9月)の開催(27都道府県から160名参加、台風24号の上陸で40名が参加キャンセル)
 - 新しい地域、各種ソフィア会設立の支援(各種ソフィア会3団体設立)、地域ソフィア会で唯一未登録の福井県ソフィア会の立ち上げを支援中
 - ソフィア会の会報「ソフィアンズナウ」(年2回)および同号外(年1回)の定期刊行とメールニュースの定期配信。またメールニュース最新号は37,639人、Facebookでは7,534人に情報を発信。
 - 2017年度に引き続き学生入学式へのソフィア会紹介冊子、学費請求時、同趣旨チラシを同封。
 - ソフィア会Webサイトでは年間500を超える記事をアップするとともに、より多くのアクセス獲得を目的にスライダー(スライドショー表示)を設置、バナー位置を修正するなど、工夫を凝らした。
 - ASF:5/27(日)実施10,000人を超える入場者あり。ASC:12/14(金)実施300名を超えるソフィアンと学生の参加あり。チャリティ募金14万7,960円を達成。ソフィアンズカッ

プ:9/6(月)箱根カントリー倶楽部にて実施。参加者141名。

- 講演会に関して、講演内容のより一層の充実と参加者の増加に取りむ(5回実施)
- ①6/28元リトアニア大使白石和子「翔びたとう女性たち」参加者80名
- ②7/12マスコミソフィア会表彰式NHKワールドニュースコメンテーター道傳愛子「取材の現場から世界を考える」参加者160名
- ③8/28山田五郎「山田五郎さんに聴く 絵画の楽しみ方〜没後50年藤田嗣治展に寄せて」参加者200名
- ④10/9ナビタイム大西社長「大学時代の研究からナビタイムジャパンという会社は生まれた」参加者80名
- ⑤2/20川平慈英「寛容とリスペクト」参加者140名
- その他の講演会として、10/18石倉洋子氏による講演「世界で活躍している人が大切にしている小さな心がけ」を実施。参加者は高校生を含む70名
- NEXT100プロジェクト推進による地域ソフィア会の活性化支援)
- 登録団体や会員間連携促進を支援するソフィアンズクラブの利用方法改善

4. ソフィア会の体制強化

- 結果** ・常任委員の中途での補強、専門委員の充実を実現
- 学部学科同窓会特別委員会、奨学金等学生支援特別委員会の設置と取組の推進
 - ソフィアンズクラブ夜間休日の外部委託化によるクラブの安定的運営を実現
 - 監事による指摘と助言の活用、細則の整備などを実施
 - 不定期に実施していた正副会長会議を、重要案件の協議機関として7月より定例化

5. ソフィア会の健全な発展に向けて安定した財政基盤の確立

- 結果** ・例外的な終身会費未納者に対する卒業後の働きかけ手順設定、代理徴収時に対する事務局問い合わせ体制の整備
- 維持会費年間目標380万円達成
維持会費年間目標達成率は、約84%(約318万円)、延べ747人から納入を実現

EVENT & REPORT

第1回全国地域ソフィア会連絡会議

繋げよう、広げよう、深めよう、ソフィアの絆

ソフィア会は第1回全国地域ソフィア会連絡会議を、ソフィア祭でにぎわう上智大学で11月2日（土）に開催しました。

ソフィア会は、地域ソフィア会会員の相互交流と各地域ソフィア会活動の活性化および相互の連携促進を目的として、地域ソフィア会全国大会を毎年開催していますが、本年は各地域ソフィア会の代表者に東京に集まっていただいて連絡会議を開催したものです。

連絡会議は、上智学院のサリ・アガスティン理事をはじめとする来賓の方々、全国地域ソフィア会48団体の代表者とソフィア会から戸川会長をはじめ役員など総勢68名の大規模なものとなりました。

会議に先立ち、戸川会長は「全国から大勢の方にご出席いただいてこのような盛大な会議を開催出来ますことを嬉しく思います。ソフィア会は今後、「繋げよう、広げよう、深めよう、ソフィアの絆」のようなわかりやすいスローガンのもと、地域ソフィア会の皆様との連携を一層深めるよう取り組んで参ります」と挨拶。

続いて、来賓挨拶でサリ理事は「グローバル教育に取り組む大学にとって社会で活躍する卒業生のご協力は重要で、いっそうのご理解とご支援をお願いいたします」と述べられました。

●全国地域ブロック・ソフィア会制度の提案も

会議では、各地域ソフィア会から提供された活動報告を基に、総会や各種イベントの開催実例の紹介、各イベントの会員への周知方法、新会員の獲得方法、地域ソフィア会活動の活性化方法、活動資



金の調達手段としての年会費のあり方、会則・名簿の整備、ソフィア会から提供されるサービスの活用、近隣地域ソフィア会との交流促進など、日常的な問題について活発に意見交換が行われました。

ソフィア会に対しては「地域ソフィア会活動への期待は何か」、「卒業していく学生に地域ソフィア会のPRを」、「会員情報の提供を」、「休会中のソフィア会の活動再開・未登録地域ソフィア会の立ち上げに協力・支援を」、「地域ソフィア会同士の日常会話を可能とするネットワークシステムの構築を」などの要請と提案が出されました。

また、ソフィア会からは、近隣の各地域ソフィア会がお互いの交流を通して連携を促進しネットワーク化を図るため、全国を10ブロック（①北海道、②東北、③北関東・信州、④首都圏、⑤北陸・新潟、⑥東海、⑦関西、⑧中国、⑨四国、⑩九州・沖縄）に区分した「全国地域ブロック・ソフィア会制度」を提案、本制度を実現するために今後、各地域ソフィア会で取り組むことが確認されました。

大学への要望としてあがった、上智大学がグローバル展開として取り組んでいるブランディング事業について、サリ理事は、国際社会で活躍できる人材の育成のための多彩なグローバル教育プログラムについて説明、大学の池尾茂理事からは、全ての学部・研究科を四谷に集約しグローバルキャンパス化に取り組んでいることを説明しました。

3時間に及んだ会議を終え、その後ソフィアンズクラブで行われた懇親会でも熱心に情報交換する姿が見られました。最後に、2020年9月に松本市で開催予定の「第11回地域ソフィア会全国大会（信州大会）」のホストを務めるアルプス・ソフィア会の大宮前会長とコ・ホスト役の千曲川ソフィア会の杉浦会長から開催案内が行われ「大勢の参加を歓迎します！」に参会者の大きな拍手が寄せられました。出席の各地域ソフィア会は次の通りです。

函館、八戸、岩手、宮城、庄内、宇都宮、足利・佐野・栃木、群馬、八王子、板橋、文京、中野、立川、日野、北多摩、逗葉、鎌倉、藤沢、小田原、よこすか、四街道・佐倉、八千代、さいたま、埼玉西部、山梨、アルプス、千曲川、富山、石川、静岡県、名古屋、三重、滋賀、関西、広島東部、広島西部、山口県、香川、愛媛、北九州、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄（以上48団体）

卒業5年ソフィアン交流会

ソフィア会は11月3日（日）、大学ソフィア祭でにぎわうキャンパスで、卒業して5年目となる卒業生の集いを開催しました。

上智大学とソフィア会は、5月の「オールソフィアンの集い（ASF）」に合わせ、卒業15年の銅祝、25年の銀祝、40年のルビー祝、そして50年の金祝をお祝いしていますが、今回、さらに若い世代を対象とした集まりを企画したものです。初めての試みでしたが、事前に100名を超える申込者があり、当日は卒業後初めて母校を訪れた人も多く、久しぶりの同級生との再会や在学時とはかなり変わってきている校舎



の話題などに花が咲きました。

交流会ということで、初めはゲーム形式で初対面の人も混じるグループでの交流となりましたが、同期ということもあってすぐに和やかな雰囲気になり盛り上がりました。お子

さん連れのカップルもいて、仕事に家庭に忙しい時期の年代ですが、同じソフィアンという共通項で結ばれている絆を再確認できた会になりました。

多くの参加者から、大学やソフィア会とのつながりをこれからも積極的に続けていきたいという感想が寄せられました。



ドナル・ドイル先生の「60年をふりかえる」

多くの写真が語り掛けてくるひととき

2019年4月26日(金)／2号館17階1702会議室

ドナル・ドイル先生の講演会のテーマは「ドイル先生、60年をふりかえる」。

まずこんな話から。

「神父様、日本に来てどれくらいですか?」。よくこう聞かれます。「60年ですよ」というと、次にはこうです。「どうして日本にいらっしゃったんですか?」。私はいつもこう答えます。「あなたに会うために来ました」

「自分のユニークさに気づいてほしい。ただ一人のあなた。もう一人のあなたは、いません。日本人はグループで行動することが多いけれど、あなたはユニークな存在なのです」。

たくさんの写真を紹介しながら話が展開していきます。

まず、今回の講演のチラシにも使われた、ロバと一本の道の写真。

「この道は曲がっていて、その先は見えません。一人で歩く道。何が待っているのか……。」ドイル先生がアイルランドで撮られた写真とのことですが、映画のポスターのように多くを語りかけてきます。

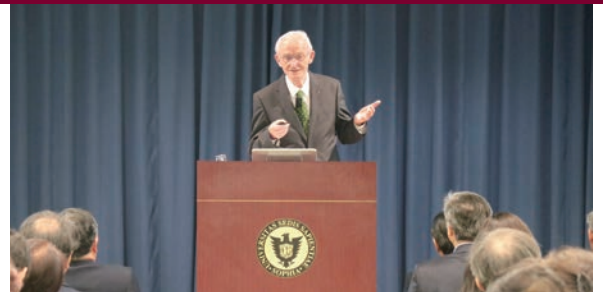
家族と立派なお宅。アイルランドでの両親、家族。イエズス会に入り、海外に派遣されるにあたり、指示された国とは別に、聖フラ

ンシスコ・ザビエルゆかりの日本に行きたいと願い出たところ、あっさりと許可されます。もう二度と会えない、という覚悟の上でご両親様とお別れをして60年前に来日。まったく情報のない遠い遠い極東の国に、アイルランドから来日したドイル先生でした。

日本ではまず栄光学園、広島学院で教鞭をとり、そのころの写真も。講演会には先生の60年の足跡そのままに、いろいろな「教え子」が全国から集合、お写真が紹介されるたびに、あちこちで小さな歓声が上がっていました。

その日は平成最後の金曜日でしたが、天皇陛下が英語でスピーチをなさる折には宮内庁からの依頼で協力なさったとのこと話は特別印象的でした。急を要するときも、ドイル先生は皇居に赴き、丁寧に真心こめて対応、宮内庁からも信頼され、皇室ともずっとご交流が続いているとのこと。

ドイル先生の今日まで88年の人生にはさまざまな方との温かくも真剣な交流がぎっしりと詰まっていて、それがすべて、あの穏やかに優しい笑顔と握手に集約されていることがわかりました。



レーシングドライバー 山野哲也さん

「1/1000秒を削るために」

2019年6月25日(火)／図書館9階911会議室

山野哲也さんは、在学中は体育会自動車部に所属し、全日本ジュニア選手権などで活躍しているプロのドライバー。講演はMCと山野さんのトークショー形式で行われ、モータースポーツに詳しい方にも、詳しくない方にも分かりやすいお話で楽しめる講演となりました。

自動車競技についての説明からはじまり、学生時代からプロのド

ライバーになるまで、現在そして今後のことまで、幅広いテーマで盛り上がりました。

特に「安全運転にもつながる」、といったあたりは特に関心が高かった様子。常に限界に挑戦するプロのアスリートだからこそ、というような理論や考え方も聞くことができました。現役の学生からの質問にも非常に丁寧に応えて下さり、1時間のトークショーはあっという間に時間切れとなりました。

これからも山野さんには更に記録を伸ばして、上智大学卒のアスリートとして活躍していただけることを期待しています。



ノバルティスホールディングジャパン 鳥居正男社長

「グローバル人材の条件」

2019年10月29日(月)／2号館17階1702会議室

「経営者に聴く」第3弾は、ソフィア会の副会長でもあるノバルティスホールディングジャパン社長鳥居正男さんの「グローバル人材の条件」。鳥居さんは、48年間外資系医薬品業界一筋。そのうち26年間社長業を務めていらっしゃる、まさしくトップリーダーです。

講演は、今、医薬品産業には大きな変化の波がきているという指摘から。日本は危機的な高齢化を迎えていて世界中がこの危機をどう乗り越えるのか注目しているということ、今までは治すことができなかった難病を、一回の投与で治すことができる薬ができてきたこと。そして、どのメーカーも、かなりの研究開発費をかけていることなどを説明されました。



続いて、今回のテーマであるグローバル人材。

鳥居さんは、社長の仕事は一生懸命に働いている社員に尽くすことであり、日々、感謝すること、気配りを忘れず、いつも謙虚に、が大切だといいます。「自分の人生は、上智大学に来て、フォーブス神父と出会いアメリカに留学したことからはじまった」と、いつも感謝の気持ちを忘れないと結ばれました。

なぜ、グローバル環境で活躍できる人材が日本から育たないのでしょうか。そこには、日本の正解主義、画一化、詰込み重視の教育、英語力が決定的に弱いといったことや、危機意識の欠如、内向きで世界的な視野がないといった原因があるのではないかと。グローバル環境で活躍できる人材に求められているコアな資質は、コミュニケーション力や違うものに違和感を持たずに受け入れる力。また他人への配慮・関心・興味を持ち、気持ちのゆとりやタフさがあることが重要だと語ります。

「文化に優劣はなく、個人のコミュニケーション力を上げ、情緒ではなくロジックで語り、黙っていないでしゃべること。何かを聞かれたら考えこんだりしないで、とにかく何かをいう。そしてYes/noをはっきりいい、ゆっくり冷静に話し、わからなければ確認し、必要なら繰り返すことが重要です」

鳥居さんは、社長の仕事は一生懸命に働いている社員に尽くすことであり、日々、感謝すること、気配りを忘れず、いつも謙虚に、が大切だといいます。「自分の人生は、上智大学に来て、フォーブス神父と出会いアメリカに留学したことからはじまった」と、いつも感謝の気持ちを忘れないと結ばれました。

今年も1万人を超えるソフィアンが四谷キャンパスに 笑顔であふれた ASF2019

5月26日(日)、「オールソフィアンの集い(ASF)」を開催しました。真夏を思わせる日差しの中、今年も1万人を超えるソフィアンとその家族が母校を訪れ、どの顔も笑顔であふれていました。

メインストリート

今年のASF実行委員のTシャツは赤。その赤色と日差しがまぶしいメインストリートには、いつものように飲食の店舗やイベント告知のテントが並びます。

この日に合わせて開放されたSJガーデンにも多くのパラソルが並び、ソフィアンのくつろぐ姿がありました。



ASFは朝9時からの記念ミサから



祝典パーティ

午前の祝典に続き、午後にはそれぞれの会場で銅祝、銀祝、ルビー祝、そして金祝のパーティ。その中で今年特に目立ったのは銅祝の参加者。会社で頑張り、そして子育てで忙しい時期ですが、会場のソフィアンズクラブは歓声で溢れました。



金祝の参加者は増大の一途



銅祝会場入り口にはベビーカーも

講演会



ASF 恒例となった晴佐久昌英神父

午後には今年も充実の講演会が並びました。日米関係の論評などでテレビでもおなじみの前嶋和弘上智大学教授の「アメリカと私ー上智で学び、そして今」。そして、映画プロデューサー・小説家、川村元気さんの「面白さの『発見』、組合せの『発明』」。6号館の教室が満席になる盛況でした。

数多くの国民的ヒット曲を生み出した売野雅勇さんの講演「得意を仕事にできたシンプルな心がけ」は2号館17階の国際会議場で。

そして、グローバルをテーマにした船橋力さん(1994 経営)、石倉洋子さん(1971 外英)、豊田 ASF2019 実行委員長によるパネルディスカッションも。



前嶋和弘教授の記念講演



会場が人で埋まった川村元気さん講演会



作詞家・売野雅勇さんと金谷武明さん



石倉洋子さん×船橋力さん×豊田圭一実行委員長

グランドフィナーレ

午後4時から、ASF2019の最後を飾るステージでのグランドフィナーレ。カーリー先生と聖歌隊、グリークラブ現役OBの歌に続き、佐久間理事長、曄道学長、戸川ソフィア会会長が締めめの挨拶。金谷武明総指揮、豊田実行委員長も加わって「上智大学万歳!」と叫ぶ中、最後は応援団のリードで校歌斉唱。



今号は10月末までにホームページに掲載された記事が対象ですが、投稿が多数でスペースが足りないため編集部では記事を大胆に短縮させていたでいます。今回は札幌ソフィア会さんの記事が印象に残りました。「ノブレス・オブリージュ」。「上智大学で学ぶ機会にめぐまれた者は、ソフィアに相応しい行動を求められる」の意と思いますが、素晴らしい記事がありがとうございました。

ローマ・ソフィア会

上智大学聖歌隊が巡礼のため来訪され、ジェズ教会とサン・ピエトロ大聖堂のミサで奉唱なさいました。ミサ後、参列者から多くの拍手を浴びる様子は感動的でした。



開催日：2019.02.22-23

ジャカルタ・ソフィア会

お子様を含めて29名でBBQ大会を催しました。天候に恵まれ新会員の参加もあり大いに食べ・飲み喋り楽しい4時間を過ごしました。



開催日：2019.05.01

ワシントンDCソフィア会

DCのレストランで懇親会を開催。席上、隣道学長と杉村副学長からDCソフィア会の名前が記された特注の旗が贈呈されました。



開催日：2019.05.29

サンティアゴ・ソフィア会

いよいよ冬到来という曇天のなか、帰国される会員の送別会を開催しました。



開催日：2019.06.14

アイルランド・ソフィア会

アイルランドツアーにお越しになった上智の先輩方11名のグループとの合同食事をダブリンのタイ料理店で開催しました。



開催日：2019.06.19

デュッセルドルフ・ソフィア会

オランダ国境に近い森の中に住む会員のご自宅をお借りし、ソフィア12名でBBQとホテルの鑑賞を楽しみました。



開催日：2019.06.29

ミュンヘン・ソフィア会

日本レストランで懇親会を開催しました。新たにミュンヘンに来られた初参加のメンバーも含め、12名が参加されました。



開催日：2019.07.13

マドリード・ソフィア会

森会長(1982外葡)のご帰国に伴う送別会兼クリスマス会を開催。お蔭さまで本会も新しい会員が増え定期的に集まり、活動も活性化しています。



開催日：2018.12.20

ニューヨーク・ソフィア会

ニューヨークにいらした隣道学長の歓迎会をミッドタウンで開催。会員のほか大学受験を控えたお子さんを持つ保護者の方々と総勢30名以上が集いました。



開催日：2019.04.27

UAEソフィア会

黒田会長宅にてUAEソフィア会旗のお披露目および同日始まったイスラム教徒のラマダンの日没後の最初の食事の宴を開催し、当日都合のつくメンバーが集まりました。



開催日：2019.05.06

LAソフィア会

第35回目となる南カリフォルニア大学同窓会対抗ゴルフ大会が幹事校青山学院大学の企画で開催され、LAソフィア会からも6名が参加しました。



開催日：2019.06.02

フランス・ソフィア会

ビーズ・伊藤千砂さん(1990外仏)が当主としてご活躍のブルゴーニュの名門ドメーヌ「シモン・ビーズ」を訪問。総勢19名がビーズさんらの温かいお出迎えをいただきました。



開催日：2019.06.16

バンコク・ソフィア会

バンコク市内のレストランで今年度上半期の交流会を開催しました。20名ほどの参加がありました。



開催日：2019.06.22

ベルギー・ソフィア会

栗田会長のご自宅で、プールサイドBBQソフィア会を開催。参加できたソフィアはたった4名でしたが、ご家族友人連れの楽しい集まりとなりました。



開催日：2019.06.29

シドニー・ソフィア会

今年2回目の親睦会をシドニー郊外のレストランで開催。赴任したばかりの初参加のソフィア他12人の参加があり4カ月ぶりに楽しいひとときを過ごしました。



開催日：2019.07.19

アムステルダム・ソフィア会

熱波のこの日タパスが美味しいレストランで懇親会を開催。仕事で短期滞在している新メンバーや初参加者も加わって7名の集まりとなりました。



開催日：2019.07.26

フランクフルト・ソフィア会

デュッセルドルフ、フランクフルトに駐在された大先輩が出張のお忙しい中をご出席くださり、お蔭さまで火曜日ののに16名が参加されました。



開催日：2019.08.20

メキシコ・ソフィア会

懇親会を開催しました。当会は50年以上の歴史があり、今後も世代を越えた交流を続けていきたいと思ひます。



開催日：2019.09.21

インド・ソフィア会

今年4回目の懇親会を野村会長のご自宅にて開催。騒々しいインドのレストランと異なり、ゆったりと親交を深めることができるホームパーティーは貴重な機会です。



開催日：2019.09.23

名古屋ソフィア会

毎月第2金曜日の夕刻に集まり、錦三丁目で作りの料理とお酒を頂きながら、年齢に関係なく和気あいあいと2時間ほど楽しい時間を過ごしています。



開催日：2019.04.12

日野ソフィア会

春と秋の年2回、茶話会形式でおしゃべり会を実施しています。今回は和室で参加者も8人と少人数でしたが、これが幸いして充実した有意義な会になりました。



開催日：2019.04.27

高知ソフィア会

大学の地域懇談会の前夜に高知ソフィア会を開催しました。大学の先生方と一緒に校歌を大合唱。最後は、ソフィア3・3・7拍子で締めました。



開催日：2019.05.24

山梨ソフィア会

古名屋ホテルで今年度の定期総会を開催。来賓の穴戸広報委員長、アルプスソフィア会山崎会長ら29名の参加を得て懇親を深めました。



開催日：2019.06.22

サンパウロ・ソフィア会

市内のItaim Bibi地区のレストランで会員17名で食事会を開催。ブラジルは今が最も寒い季節ですのでチーズ＆オイルフォンデュを堪能しました。



開催日：2019.07.31

モスクワ・ソフィア会

今回の定例会には13名が参加。ウラジオストクで開催された東方経済フォーラムや当日行われたラグビーW杯の日本対ロシア戦の話題で盛り上がりしました。



開催日：2019.09.20

英国ソフィア会

ロンドンのソーホー、中華料理屋さんの2階を借り切って秋の昼食会を開催。20名強のメンバーで、ご家族とともに楽しい時間を過ごしました。



開催日：2019.09.22

宇都宮ソフィア会

東武宇都宮百貨店「スパイスホール」にて10数年振りに「宇都宮ソフィア会の集い」を開催。186名から返信を頂き、当日は37名の方が参加されました。



開催日：2018.12.01

福島ソフィア会

桜の開花はまだでしたが、平成最後の福島ソフィア会を開催しました。



開催日：2019.04.13

札幌ソフィア会

哮喘学長を始め学院、大学、父母後援会、ソフィア会常任委員、姉妹校クレイトン大からと多彩な参加者を得て総会・懇親会を開催しました。



開催日：2019.05.24

熊本ソフィア会

会員20名の参加を得て令和元年度の総会を開催。総会後は講演会のため来熊されている大学OGの翻訳家谷口由美子さんに講話を頂きました。



開催日：2019.06.15

逗葉ソフィア会

今年も逗子開成中学高等学校の海洋教育センターにて懇親会を開催。盛り上がりしました。何よりも新卒2名の初々しいスピーチと乾杯音頭が好評でした。



開催日：2019.06.22

さいたまソフィア会

37名の会員の参加を得て、埼玉会館で18回目の総会を開催。当日はソフィア会横原組織委員長に最近のソフィア会の状況を語っていただきました。



開催日：2019.06.22

宮崎ソフィア会

懇親会を開催。懐かしい顔、今春卒業したばかりの顔が揃い、世代を越え楽しい時間を過ごすとともに、来年宮崎にて開催される九州ソフィア会成功に向けて心をつにしました。



開催日：2019.07.06

立川ソフィア会

第17回の立川ソフィア会を開催。来賓の穴戸広報委員長と会員12名が参加して懇親を深めました。



開催日：2019.07.07

よこすかソフィア会

会長宅にて三回目のホームコンサートを開催。懇親会では奏者を交えてソフィア会から頂いたワインで乾杯し楽しいひと時を過ごしました。



開催日：2019.07.13

香川ソフィア会

JRホテルクレメント高松にて総会・懇親会を開催。愛媛ソフィア会の松澤会長ほか遠方から参加くださった方もあり参加者29名で親睦を深めました。



開催日：2019.07.27

埼玉西部ソフィア会

第4回親睦ゴルフ大会を川越カントリークラブにて開催。今回も体育会OB会小川会長にご参加いただきました。皆さまのエチケット・マナープレーはさすがソフィアンでした。



開催日：2019.08.27

千曲川ソフィア会

第13回総会を開催。佐久間理事長、石壁常任委員、木村理事長補佐、森田ソフィア会事務局長をお迎えし、総勢33名のご参加をいただきました。



開催日：2019.10.06

サッカー愛好会イーグル

開催日：2019.03.16

イーグル創立55周年パーティーを上智大学2号館学生食堂で開催。参加者はOB58名、現役28名の総勢86名でした。



広島西部ソフィア会

令和元年夏の集いを開催しました。大学の地域懇談会の前日ということで大学教職員5名の皆さまにもご参加いただきました。



開催日：2019.07.06

板橋ソフィア会

ソフィア会戸川会長を来賓にお迎えして創立25周年総会・イベント・懇親会を開催。1959年卒業から2019年卒業までのソフィアン31人とお子さん3人の出席がありました。



開催日：2019.07.07

宮城ソフィア会

大学の地域懇談会に合わせて夏の例会を開催。母校より、佐久間理事長をはじめ8名の方々がご参加いただき、お蔭さまで盛大な会になりました。



開催日：2019.07.13

石川ソフィア会

定期総会及び懇親会を金沢東急ホテルで開催。20名の参加者がありました。懇親会では楽しいひとときに時間もオーバーしてしまいました。



開催日：2019.07.20

福岡ソフィア会

博多祇園山笠祭ですっかりお祭りムードの福岡で夏の懇親会を開催。ソフィア会の戸川会長、遠くからご参加ありがとうございました。



開催日：2019.07.05

とちぎ帯広ソフィア会

総会を開催しました。年に一度の集会であり、会員の現況報告や大学の思い出話に花が咲き、終始笑いの絶えないひと時を過ごしました。



開催日：2019.09.28

鹿児島ソフィア会

令和元年度の定例会を開催。1957年卒業から先月9月卒業までの鹿児島在住ソフィアンとその家族21名が集いました。



開催日：2019.10.26

上智不動産ソフィア会

ソフィアンズクラブ会議室にて今年度定期総会および懇親会を開催。総会のトピックスとして新たな会員資格である「親睦会員」の創設が満場一致で可決されました。



開催日：2019.04.11

上智大学体育会OB

学院のサリ理事、陣道学長他多くの来賓と、各クラブのOBOG、現役学生の合計約250名が一堂に会し、平成30年度OB総会を9号館アクティブコモンズにて盛大に開催しました。



開催日：2019.04.20

宮本久雄ゼミOBOG会

今年も恩師、元上智大学教授、東京大学名誉教授、ドミニコ会カナダ管区司祭の宮本先生を囲んで、通算第5回目の同窓会兼先生のお誕生日会を催しました。



開催日：2019.04.27

体育会ソフトテニス部OB会

ASFにOB22名と現役の参加を得てOB会総会を開催。現役は、昨年女子部はソフィアスポーツ大賞を3年連続で受賞。男子部も新入部員6名を加えて昇格を目指し頑張っています。



開催日：2019.05.26

金祝燦燦会

ASFで「留学生による日本語スピーチコンテスト」をソフィア会後援にて開催。今年は「日本文化に接して」をテーマに8人の留学生がそれぞれの出逢いを語りました。



開催日：2019.05.26

NEC宇宙ソフィア会

今年初めての懇親会を府中で開催。今回は社外へ出向する若手メンバーの壮行会として開催したものです。いろいろな経験や人脈育成をして戻ってきてほしいと思います。



開催日：2019.05.31

アビオンソフィア会

四谷駅前プラザエフにて、フォトジャーナリストの安田菜津紀さんをゲストスピーカーにお招きし、ソフィアン35名の参加を得て楽しく賑やかに春の懇話会を開催しました。



開催日：2019.06.13

竹内一郎ゼミOB・OG会「竹の子会」

恒例のゼミ生による竹内先生ご夫妻のお墓参りを西多磨霊園にて行いました。ゼミ生9期生（1981年卒）を中心に10期、11期、12期の参加となりました。



開催日：2019.06.22

体育会ワンダーフォーゲル部OB会

開催日：2019.10.5-6

第19回目のOB会山行を10月5・6日に開催しました。瑞牆山麓のみずがきリーゼンヒュッテにOB・OG39名、現役部員11名と総計50名が集合しました。



酒誼会

21名（うち、女性6名）の参加を得て「銀座・響」で総会を開催。2023年のエメラルド祝（卒後55年酒誼会オリジナル）開催を決定・確認しました。



開催日：2019.04.20

碁鷺会

5月25日は麴町・ダイヤモンド囲碁サロンにて16名が一日熱戦を繰り広げ、26日のASFは1号館401教室にておなじみの「囲碁サロン」を開催しました。



開催日：2019.05.25-26

丸紅ソフィア会

2号館404号教室にて今年も丸紅ソフィア会@ASFを開催しました。少し小ぢんまりでしたが、来年もやります！



開催日：2019.05.26

体育会硬式野球部OB会・準硬式野球部OB会

お蔭でASFに、硬式野球部と準硬式野球部のOB対抗戦を真田掘野球場で開催できました。勝敗を忘れて、楽しんだ様子が集合写真の皆さんの表情から伺えます。



開催日：2019.05.26

東京シンガポールソフィア会

昨年の5月に各種ソフィア会に登録されてから2度目の総会を紀尾井亭にて開催。宮内会長以下15名が集いました。登録メンバーも40名になりました。



開催日：2019.06.05

獨協ソフィア会

ソフィアンズクラブにソフィア会戸川会長と獨協大学須藤同窓会長をお招きして当会がソフィア会登録団体となった報告会と懇親会を開催しました。



開催日：2019.06.20

SNSソフィア会

昨年同様、会員の小泉さん（1975外英）の別邸松原Qスタジオに12人が参集してにぎやかに暑気払いを行いました。



開催日：2019.08.12

外英71年入学同期会

ソフィアンズクラブにて恒例の同期会を開催。翌日の巨大な台風到来の前日でしたが14名の参加となりました。アツという間の2時間でした。



開催日：2019.10.11

第28回コムソフィア賞 須磨美由紀さんと川村元気さん が受賞

ソフィア会とマスコミ・ソフィア会は7月16日(火)、2号館17階の国際会議場で28回「コムソフィア賞」の表彰式と講演会を行いました。

今回受賞したのは、国際貢献の分野から須磨美由紀さん(1983 文社福)、そしてメディア活動の分野から川村元気さん(2001 文新)の二人。須磨さんは、アジアの開発途上国で教育や医療の支援活動を行っており、国際貢献の分野での功績が認められました。川村さんは「君の名は。」などのプロデューサーとして、また「世界から猫が消えたなら」が世



界で200万部を超えるベストセラーになるなど小説家としても傑出した評価を得ており、メディアの分野での活躍が評価されました。

表彰式では、主催者を代表してマスコミ・ソフィア会の村田亨会長が挨拶。「昨年度の27回目からは、マスコミ・ソフィア会と上智大学ソフィア会との共催事業として、上智大学の後援もいただいで全学規模で行うことができるようになりました」と現在のコムソフィア賞について説明。その後、畔道佳明上智大学長が「大学から社会に何を発信するか、そのアクティビティが伝わることで大学の評価も決まると考えています。今回のコムソフィア賞で大学から発信されるお二人の活動は目を見張るものがあります。社会にインパクトを与える仕事に改めて敬意を表したい」と受賞した二人に祝辞を送りました。

表彰式では、ソフィア会の戸川宏一会長と村田マスコミ・ソフィア会会長から、二人に上智大学の卒業生でもある元総理大臣、細川護熙さ



ん制作の向付と表彰状が手渡されました。

その後の受賞記念講演では、最初に須磨さんが登壇、「すべての喜び、すべての平和、すべての悲しみとともに」をテーマに、上智大学でピタウ先生に誘われてインドシナ難民キャンプを訪れてからのこれまでの取り組みを、①私と上智との出会い、②弟から託されたもの、③上智という道すじ、の3つの項目を追いながら話をされました。続く川村さんの講演テーマは「面白さの発見、伝え方の発見」。数々の大ヒット作品の背景を、この2つのキーワードで解き明かしました。

その後、2号館5階の学生食堂に場所を移しての懇親会では、上智学院の佐久間勤理事長も参加。お二人からも改めてご挨拶をいただきました。また、会場では川村さんのサイン本の即売会も行われ、用意された本も完売しました。

第29回コムソフィア賞 推薦候補者募集中

コムソフィア賞選考委員会

ソフィア会とマスコミ・ソフィア会は、第29回コムソフィア賞推薦候補者を募集しています。選考基準は①国際社会、地域社会に貢献した優れた人物、②国際報道、日本紹介に優れた業績を挙げた人物、③マスコミおよび各種メディアに貢献した人物、のいずれかです。

cumsophia@sophiakai.gr.jp に、2020年2月末までにご連絡ください。

なお、これまでの受賞者はinfo@cumsophia.jpでご覧いただけます。

学生の課外活動へ支援金を贈呈 文科系20団体、体育会40団体に合計761万円

ソフィア会は7月22日(月)2号館17階1701会議室において、2019年度学生課外活動支援金贈呈式を行いました。学生課外活動支援事業はソフィア会の大きな目的である「大学への貢献」の中核をなすもので、今回は文科系20団体、体育会系40団体の60団体に合計761万円の支援金を贈呈しました。

贈呈式では、各学生団体の代表が居並ぶ中、戸川宏一ソフィア会会長が「おめでとうございます。みなさんはそれぞれのクラブ、サークルでリーダーシップを発揮されていると思いますが、その経験は必ずこれから社会に出てからも役立つと思います。がんばってください」と挨拶。

続いて、今回選考された体育会団体代表の木村亮子さん(法学部法律学科4年、ワンダーフォーゲル部)、文科系団体代表の島田航太さん(文学部史学科3年、めぐこ)に、戸川会長が支援金の目録を贈呈。最後に、学生を代表し木村亮子さんが謝辞を述べ、贈呈式は約30分で終了しました。

この学生課外活動支援は、大学に課外活動団体として登録している団



体を対象にソフィア会が支援金を贈るもの。文科系団体については活動成果の発表、体育会系団体は学生連盟などでの成果、公式大会への参加、公式大会・リーグ戦・上南戦などでの成績などを考慮して選考しています。

今回の支援金贈呈団体は以下のとおりです。

文科系20団体(261万円)

ドンキホーテ、上智大学放送研究会(SBC)、混声合唱団アマデウスコール、Safro Family、模擬国連委員会上智支部、Sophia Debating Society、Sophia Comedy Society、上智国際法研究会(SILC)、管弦楽部、めぐこ、英語研究会(E.S.S.)、グリークラブ、Sophia Shakespeare Company、nexnect、箏曲部、Sophia Flying Turkeys、アレグリーアス、ソフィアモダンダンスーズ、New Swing Jazz Orchestra、Ceek(カンボジアの子どもたちへの教育支援)

体育会40団体(500万円)

合気道部、アイスホッケー部、アメリカンフットボール部、ウインドサーフィン部、応援団、空手道部、弓道部、競技ダンス部、剣道部、グランドホッケー部(女子)、ゴルフ部、サッカー部、柔道部、自動車部、少林寺拳法部、水泳部、スキー部、卓球部、硬式庭球部(女子)、ソフトテニス部(男子)、ソフトテニス部(女子)、バスケットボール部(男子)、バスケットボール部(女子)、バトミントン部、バレーボール部(男子)、バレーボール部(女子)、ハンドボール部、フェンシング部、フライングディスク部、ボクシング部、準硬式野球部、女子野球部、洋弓部、ヨット部、ラグビー部、ラクロス部(男子)、ラクロス部(女子)、陸上競技部、ワンダーフォーゲル部

「ソフィア会奨学金」を 創設しました 大学支援活動をさらに

2017年4月以降の入学者を対象にソフィア会の終身会費の改定（主に2020年度学部卒業生から適用）を行いました。その際の主目的のひとつであるソフィア会による奨学金制度の創設について、上智大学関係者との1年以上にわたる検討の結果、その名称を『ソフィア会奨学金』として、本年度予定通り制度導入を完了いたしました。

この制度は、ソフィア会独自の返還義務のない給付型で、大学のグローバル化を後押しする海外への「留学支援奨学金」（対象は、短期留学、長期の交換留学）、そして遠方からの入学を支援する「生活支援奨学金」の2つからなり、2019年度は、総額600万円を給付いたします。そして、今般、記念すべき第1回目の奨学金の給付を行いました。

会員の皆様のご協力（ご寄付）をいただきながら継続的に、いっそうの充実に努めます。

1. ソフィア会留学支援奨学金－海外短期プログラム（研修、実践型）枠－

(1) 2019年夏出発（6名、計142万円給付済）

氏名	学部学科	プログラム名
徳田夏実さん	外英4年	オックスフォード大学
名和梨沙アンバーさん	経営4年	北部タイ・サービスラーニング・プログラム
城戸ゆかりさん	外英3年	ジュネーブ国際機関集中研修
河村萌恵さん	総G3年	メコン経済回廊スタディツアー
鴨下眞子さん	外英2年	エストニアスタディツアー
井上佳音さん	法法2年	AJCU-AP サービスラーニング・プログラム

(2) 2020年春出発予定

応募を締め切り、2019年11月に選考手続き中

2. ソフィア会留学支援奨学金－交換留学枠－

(1) 2019年夏出発（3名、計136万円給付済）

氏名	学部学科	派遣先大学
河田菜南子さん	外西3年	マドリッド自治大学
原羽衣さん	総G3年	マイアミ大学
松本慶隼さん	理機能3年	ハワイ大学マノア校

(2) 2020年春出発予定

応募を締め切り、2019年11月に選考手続き中

3. ソフィア会生活支援奨学金

2020年4月入学の公募制推薦入試志願者の中から5名に給付予定で、2019年11月に選考手続中。

寄稿 オリンピック・パラリンピック支援特別委員会 オリパラで活躍するソフィアン

「上智の外国語」が高く評価されるようになったきっかけのひとつに、1964年の東京オリンピックがあったという見方があります。1964年の東京オリンピック開催によって大学に「国際化」が求められ、上智大学がクローズアップされたというものです。

上智大学のWebサイトにも「本学の外国人神父の教員6人が学生通訳の講習に協力。当時最新のLL(ランゲージ・ラボラトリー)教室を使って、本学を含む都内18大学の学生たちに英語、フランス語の通訳講習を行いました」と1964年東京オリンピック支援に上智大学が協力した記事が掲載されています。受験英語の域を出ていなかった当時の学生を特訓して学生通訳を育成していったことが、「語学の上智」の名声を高めることにつながったということが推測できます。

2回目の東京オリンピック・パラリンピック（オリパラ）が2020年に開催されることが決定した2013年、上智大学は創立百周年を迎え、語学教育研究センターを立ち上げ外国語教育改革を行うとともに、上智版TOEFLとも言われる英語力検定TEAPをスタート。2014年4月には総合グローバル学部を開設して、グローバル人材育成を強化させました。また、上智大学が目指している「他者のために、他者と共に生きる人」の育成の場として、共生社会の構築の実体験をする場としてオリパラを教育・研究・社会貢献に活かすべく上智大学は2016年4月に「ソフィアオリンピック・パラリンピックプロジェクト

（SOPP）」を立ち上げました。ソフィア会もそのSOPP事業を支援し、社会貢献を行うべく同時に「オリンピック・パラリンピック支援特別委員会（オリパラ委）」を立ち上げて人材バンクを設立。各種人材育成研修事業、機運醸成事業、情報提供などを行っています。

先日終了したラグビーワールドカップの運営やボランティアには、多くの卒業生が従事しましたが、2020年東京オリパラには、さらに多くの卒業生が関わっています。大会を主催するIOC国際オリンピック委員会・IPC国際パラリンピック委員会、大会を運営する東京2020組織委員会、大会を支援する国の内閣官房東京オリパラ推進本部と開催地東京都のオリパラ準備局をはじめ、JOC日本オリンピック委員会、JPCパラリンピック委員会、IF国際競技連盟、NF国内競技連盟、メディア、スポンサーなどほぼすべての団体に上智大学卒業生が活躍しており要職も務めています。ちなみにJOC事務局長は2代続けてソフィアンであり、朝日新聞・毎日新聞のオリパラ室長もソフィアンです。このほか、様々な場所でソフィアンがMen and Women for Others, with Othersとして活躍されることが期待されています。



1964年の東京オリンピックで通訳ボランティアとして活躍した
諏訪なほみさん(写真左)など外仏(1965年)の学生たち

11月23日から26日にかけて教皇フランシスコが訪日、最終日の11月26日には四谷キャンパスに来校。上智大学への教皇の訪問は、1981年の聖ヨハネ・パウロ2世教皇の来校以来、38年ぶりです。

教皇フランシスコは、上智大学の設立母体であるカトリック・イエズス会出身の初の教皇。そのため、上智大学との関りは強く、2017年12月には、映像回線を通じた「教皇フランシスコと話そう」において上智大学の学生たちと対話されています。

教皇フランシスコをお迎えするにあたって佐久間勤上智学院理事長はこう語っています。

「教皇とは少なからぬ縁のある上智ですが、フランシスコ教皇には私たちはこれまでも増して親しみを覚えます。なぜなら、1992年にブ

エノスアイレスの補佐司教になられるまで、イエズス会に属する神父であられたからです。上智学院とその設置校は全世界のイエズス会系大学・学校と"Man for Others"という共通の精神で結ばれています。フランシスコ教皇から同じ精神を感じ取って、私たちは教皇に一層の親しみを感じます」(上智大学のWebサイトより抜粋)。

ローマ教皇と上智大学とは非常に近い関係にあることが分かります。



教皇とジャン・クロード・オロリツ
シュ枢機卿(元上智大学副学長)

「ベーゼンドルファー」を保存・展示 6号館ロビーに

「ソフィアンズナウ」2015年秋号(No.178)で、「ベーゼンドルファー物語—上智大学校歌誕生秘話」として紹介したピアノが、6号館(ソフィアタワー)1階ロビーに展示されています。



大学創立当時にドイツ人神父が持ち運んだ、とだけ伝えられるこのピアノは「ウイーンの至宝」とまでいわれた名器ベーゼンドルファー。1932年6月14日、1号館落成式で初めて披露された校歌の伴奏をしたと伝えられています。その後使われることもなく、学内を転々とし廃棄寸前だったものが、このソフィアンズナウの記事がきっかけで保存されることになりました。

百数年の歴史を上智大学とともに歩んできたベーゼンドルファー。塗装もいたるところ剥げ落ち、機能はほとんど失われてしまいましたが、上智の発展をずっと見守ってきたピアノです。6号館のソフィアンズクラブを訪れたときには、ぜひこの1階のピアノもご覧ください。

2019年度9月期の学位授与式を挙行



上智大学は9月29日(金)10:00から四谷キャンパス6号館1階101教室で、2019年度9月期学位授与式を行いました。これは国際教養学部など英語のみで学位を取得できる学部や研究科の卒業生を対象に行う学位授与式で、式

辞や祝辞などすべて英語で行われます。

当日は暁道佳明上智大学長、佐久間勤上智学院理事長の祝辞に続き、戸川宏—ソフィア会会長も英語で祝辞を述べました。戸川会長は、ピタウ先生がよく言われていた言葉「Look, Love, Laugh」という3つの言葉(人生に大切な3つのL)を紹介しながら、新しいソフィア会員に祝意を表しました。

今後のスケジュール<ソフィア会・上智大学(学院)>

2020年	3月24日(火)	学部学位授与式
	3月24日(火)	大学院学位授与式
	4月1日(水)	学部入学式
	4月2日(木)	大学院入学式
	5月16日(土)(予定)	春季全国代議員会
	5月31日(日)	金・ルビー・銀・銅祝式典
	5月31日(日)	会員大会
	5月31日(日)	ASF2020
	9月18日(金)	9月期学位授与式
	9月22日(火)(予定)	9月期入学式
	9月(未定)	ソフィアンズカップ・ゴルフ大会
	9月26日(土)	第11回地域ソフィア会全国大会2020信州大会
	10月17日(土)(予定)	秋季全国代議員会
	11月2日(月)	創立記念行事・先哲祭
2021年	12月3日(木)	ザビエル祭
	12月11日(金)(予定)	ASC2020
	3月26日(金)	学部学位授与式
	3月26日(金)	大学院学位授与式

訃報(2019年春~2019年秋)

※敬称略

5月20日逝去	猪俣 芳榮	上智大学元専任教員(理工学部)
6月19日逝去	石田 満	上智大学名誉教授(元法学部教授)
6月30日逝去	森岡 ハイネツ	上智大学名誉教授(元外国語学部教授)
8月9日逝去	ロベルジュ クロード	上智大学名誉教授(元外国語学部教授)
10月1日逝去	MICHALEC MARY JEAN	上智大学元常勤嘱託教員 (一般外国語教育センター)
10月22日逝去	緒方 貞子	上智大学名誉教授(元外国語学部教授)

事務局便り

今号のナウには2019年のソフィア会の盛況な活動がたくさん掲載されています。

一方、終焉を迎える上智に関連するニュースも2019年は続きました。これらは社会の教育動向の影響を受けた、やむを得ない変化でもあります。

- ①上智大学市谷キャンパスが2019年9月30日をもって廃止、
- ②上智社会福祉専門学校が2021年度以降の学生募集を停止、
- ③上智大学公開講座(ソフィア・コミュニティ・カレッジ)が2019年度秋学期の講座を最後に終了、になります。

上智社会福祉専門学校については卒業生があり、ソフィアの名のつく同窓会もあります。母校がなくなり、新しい卒業生が入らず、居場所を失う同窓会の痛みに、同業者(事務局)としてどこまで共感できるかを想い、今回の事務局便りといえます。



お悔やみ申し上げます



上智大学名誉教授で、国連難民高等弁務官や国際協力機構(JICA)理事長として活躍された緒方貞子さんが10月22日逝去されました。ここに、謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。緒方名誉教授は1980年に上智大学外国語学部教授に就任、1989年から1991年まで外国語部長を務められました。

ソフィア会広報委員会

穴戸周夫(1971法法)、鈴木真理子(1982文仏)、風間烈(1965外仏)、宮崎輝雄(1972法法)、山田洋子(1977外独)、池田晶子(1980文哲)、松本明子(1983文史)、住谷史雄(1985法法)、金谷春美(2003外葡)、船津桂(2006法国)、垣本絵美子(2017院前総心)